

令和 5 年度第 3 回河内長野市上下水道事業経営懇談会議事録

開催日 令和 6 年 1 月 9 日 火曜日
午前 10 時 00 分から午前 11 時 45 分まで
開催場所 河内長野市役所 602 会議室
出席委員 笠原委員 武田委員 水上委員
越仲委員 中田委員 黒田委員

案件 1. 「河内長野市上下水道ビジョン中間見直しの改定案について」
※該当資料 4、5、6-1、6-2、6-3

【委員】

資料 4 河内長野市上下水道ビジョン中間見直し 3 ページで上水道の研修時間が未達であるが、その理由が書かれていないので、記述してほしい。

【市】

新型コロナ対策に伴う研修の中止等があったため、その旨追記する。

【委員】

資料 5 概要版 3 ページで下水道普及率の 94.8%が流域関連公共下水道の普及率と読み取られかねないため、記載位置を変更してはどうか。

また、概要版 3 ページでは污水管の延長が 417km となっており、資料 6-3 下水道編の P184 では 416km となっているがどちらが正しいのか。

【市】

前段については、下水道普及率が 94.8%であるとの記載を第 2 段落に変更する。
後段については少数点以下の処理を統一し、どちらも 417km とする。

【委員】

資料 5 概要版 4 ページ、5 ページについて将来像との関係がわかるよう、将来像を示す安全、強靱などの文言を追記する方が良いのではないか。

【市】

追記を検討する。

【委員】

資料5概要版 5 ページの課題の一番下の「流域下水道維持管理負担金の費用負担方法の見直し」は、既に負担方法が確定したのではないか。

【市】

減価償却費の負担方法については今年度で確定しているため、削除する方向で検討する。

【委員】

資料5概要版 5 ページの流域下水道維持管理負担金の記述を削除する場合、下水道編の関連部分も確認してほしい。

【市】

該当箇所が無いか確認する。

【委員】

資料6－2ビジョン（上水道編）78 ページ、79 ページの資本的収支について、前回ビジョンでは資金残高となっていた箇所が補填財源残高に変更されているのはなぜか。

【市】

改めて回答する。

→現行ビジョンの「資金残高」は、「流動資産－流動負債（H26 以降企業債除く）－固定負債（引当金）－流動資産（貯蔵品）」から算出しており、後の財政計画で示す補填財源残高とは金額も名称も整合していないため、今回の中間見直しで統一を図ることとした。

【委員】

資料6－2ビジョン（上水道編）99 ページの水需要の予測について、有収率は 10 ヶ年の最大値である 95%を採用としている一方で、P134 の有収率の目標値は 92.4%のままであるのはなぜか。

【市】

改めて回答する。

→漏水量の低減に努めた結果、有収率が向上しており、今回の中間見直しにおいて目標値を 95%に変更することとした。

【委員】

資料 6－2 ビジョン（上水道編）114 ページのスケジュールについて、企業団との統合協議をしたが、統合を見送ったとしている。統合に向けた検討が行われないのであれば、何かコメントを入れた方が良いのではないか。

【市】

これまでの協議は令和 6 年度の統合に向けた協議であり、協議の結果、令和 6 年度における統合は一旦見送った。これで企業団との統合がなくなったわけではなく、今後も引き続き検討、協議を継続する。

【委員】

長期的に企業団との統合の意向を持っているのであれば、そういった表現を加えてはどうか。

【市】

「令和 6 年度の統合は見送り」などの表現を検討する。

【委員】

資料 6－2 ビジョン（上水道編）137 ページの令和 4 年度の供給単価について、基本料金の減免による影響があったことを書いた方が良いのではないか。

【市】

追記する。

【委員】

資料 6－2 ビジョン（上水道編）141 ページの中間検証の下から 4 行目に「水道損益勘定職員」とあるが、文言が専門的なので説明を加える方がよいと思われる。他にも中間検証で専門的な文言があるか確認してほしい。

【市】

説明を追加する。

【委員】

資料 6－2 ビジョン（上水道編）150 ページの 3 つの財政計画のグラフは 3 つ目のグラフ（図 6-4）を 1 番上に置いた方が良いのではないかと。下水道事業も同様である。

【市】

修正する。

【委員】

資料 6－2 ビジョン（上水道編）157 ページの見出しに「（3）投資以外の経費の積算」とあるが、「投資以外の経費」という表現がわかりにくいため、「経費の積算」としてはどうか。下水道事業も同様である。

【市】

「経費の精算」に修正する。

【委員】

資料 6－3 ビジョン（下水道編）209 ページにおいて 56 歳以上の職員が退職した場合、技術職員の確保はどうしていくのか。P258 では技術職員率の目標値を 60% としている。

【市】

定年延長が 65 歳となり、60 歳ですぐに退職するわけではなくなったものの、募集しても採用につながらないことが全庁的な問題となっており、今後できるだけ技術職員の確保に努めていきたい。

【委員】

資料 6－3 ビジョン（下水道編）238 ページの技術職員の確保は概ね計画どおりとあるが、今後を見据えると実際は厳しい状況であり実情を伝える必要があるのではないかと。

【市】

若手職員の不在などについて、検証内容の修正を検討する。

【委員】

資料 6－3 ビジョン（下水道編）251 ページの浸水・道路冠水の発生件数について目標値は 0 であるが、令和 4 年度で 1 件発生している。目標値を達成しているといえるか。

【市】

目標値を達成しているとはいえないので、検証内容を修正する。

【委員】

資料 6－3 ビジョン（下水道編）260 ページのアウトソーシングについて、目標値の見直し理由がここだけ書かれていないため記載した方がよいのではないか。

【市】

目標値の見直し理由について、検証内容を追記する。

【委員】

資料 6－3 ビジョン（下水道編）283 ページの収益的収支について、2028 年度には令和 4 年度のおよそ 10% 減少する見込みとあるが、231 ページでは 12% となっているがどちらが正しいのか。

【市】

前者について 12% に修正する。

【委員】

パブリックコメント実施の際にはどの資料を用いるのか。

【市】

資料 5 上下水道ビジョン（概要版）と資料 6 河内長野市上下水道ビジョン（共通編）（上水道編）（下水道編）を予定している。

【委員】

資本費平準化債の拡充について、ビジョンにどのように記載するのか。

【市】

現時点において詳細が分からないため、今回の見直しで具体的に記載することは難しい。「国・府の支援策等で未確定な部分があるため、今後も国・府の動向を注視し

つつ、経営の健全化に向けて引き続き検討していく」旨を追記する。